

平成 27 年 8 月 7 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO兼社長室長 松山 哲人
電話番号 03-3241-0553

新規抗体に関する国際特許共同出願のお知らせ

この度、国立研究開発法人国立がん研究センター、国立研究開発法人理化学研究所、および国立大学法人東京大学との共同研究成果である抗ヒトTissue Factorモノクローナル抗体に関する国際特許共同出願を行い、平成27年8月6日付（欧州時間）で国際公開となりましたのでお知らせいたします。

【発明の名称】 抗Tissue Factorモノクローナル抗体
【出願番号】 PCT/JP2015/052918
【特許権者】 ナノキャリア株式会社
国立研究開発法人国立がん研究センター
国立研究開発法人理化学研究所
国立大学法人東京大学

国立がん研究センター松村保広新薬開発分野長らの「がんと血液凝固」に関する長年の研究から、組織因子（Tissue Factor :TF）は、腫瘍細胞のみでなく腫瘍血管にも発現が認められ、TFをターゲットとする抗体は種々のがんにおいて最適なデリバリーツールになりうるものであることが明らかにされました。本出願は、ヒトTFを標的とするモノクローナル抗体の中でもユニークな活性をもつ抗体に関するものです。抗ヒトTFモノクローナル抗体を表面に結合したエピルビシンミセルの研究を国立がん研究センターと共同で進め、また東京大学片岡一則教授らのチームによりダハプラチンミセルの抗体結合型ミセルに関する研究も進められており、当社の次世代型アクティブターゲティング技術 ADCM（Antibody/Drug-conjugated Micelle：抗体/薬物結合型ミセル）の応用範囲がさらに拡大しています。今後、本成果の抗ヒトTFモノクローナル抗体をセンサーとしたADCMが新たなパイプラインとして加わるものと期待しています。

当社は、ADCMに適応可能な抗体を常に検討しており、画期的な作用を示す抗体の獲得をめざし、複数の研究機関との共同研究を推進しております。

尚、本件による平成 28 年 3 月期業績へ直接の影響はございませんが、本成果を基に、新規のパイプライン拡充やライセンス等の共同開発にもつなげて参ります。

以上

=====

* Tissue Factor：組織因子

細胞膜結合型の 1 本鎖糖蛋白質で、外因系血液凝固反応の開始因子です。血管に損傷を受けた場合に、血液凝固を開始し、出血を止める生体システムです。Tissue Factor は、がん組織において多く発現していることが認められています。